

イ. 解析結果

① 「5訂増補日本食品標準成分表」と分析結果と比較検証

①-1 トマト

トマト「オ品種」「カ品種」「キ品種」について、5訂増補日本食品標準成分表との比較を行った。

検査標本について:

品種	産地	栽培方法等	収穫日	標本数
オ品種	C産地	M サイズ、土耕栽培、ハウス	H20.8.13	10 標本(ただし、脂質は1標本でデータを検出せず。)
カ品種	E産地	ロックウール養液栽培 年1作長段取り、ハウス	H20.12.9	10 標本(ただし、脂質は2標本でデータを検出せず。)
キ品種	F産地	M サイズ、土耕栽培、ハウス	H20.12.2	10 標本(ただし、脂質は5標本でデータを検出せず。)

5訂増補食品成分表と測定値との比較表

		水分 g/100g	エネルギー kcal/100g	たんぱく質 g/100g	脂質 g/100g	糖質 g/100g	食物繊維 g/100g	ナトリウム mg/100g
5訂増補食品成分表(A)		94.0	19.0	0.7	0.1	3.7	1.0	3.0
分析結果 (B)	オ品種	93.6±0.20	23.0±0.82	0.6±0.05	0.2±0.04	4.4±0.15	0.8±0.08	1.6±0.26
	カ品種	93.8±0.21	21.2±0.92	0.9±0.07	0.2±0.05	3.6±0.22	1.2±0.05	2.0±0.22
	キ品種	94.7±0.36	18.2±1.62	0.8±0.08	0.1±0.05	3.2±0.24	0.9±0.07	2.5±0.99
差引増減 (B)-(A)	オ品種	-0.4	4.0	-0.1	0.1	0.7	-0.2	-1.4
	カ品種	-0.2	2.2	0.2	0.1	-0.1	0.2	-1.0
	キ品種	0.7	-0.8	0.1	0.0	-0.5	-0.2	-0.5
変動割合 (B)/(A)	オ品種	99.6%	121.1%	91.4%	177.8%	117.8%	78.0%	53.7%
	カ品種	99.8%	111.6%	122.9%	162.5%	96.2%	116.0%	66.7%
	キ品種	100.7%	95.8%	110.0%	140.0%	86.2%	85.0%	83.7%

※分析結果(B)については平均値と標準偏差を表記。

①-2 トマト(乾重量当たりで換算した測定表)

乾重量換算にて、トマト「オ品種」「カ品種」「キ品種」と5訂増補日本食品標準成分表との比較を行なった。

検査標本について:

品種	産地	栽培方法等	収穫日	標本数
オ品種	C産地	M サイズ、土耕栽培、ハウス	H20.8.13	10 標本(ただし、脂質は1標本でデータを検出せず。)
カ品種	E産地	ロックウール養液栽培 年1作長段取り、ハウス	H20.12.9	10 標本(ただし、脂質は2標本でデータを検出せず。)
キ品種	F産地	M サイズ、土耕栽培、ハウス	H20.12.2	10 標本(ただし、脂質は5標本でデータを検出せず。)

5訂増補食品成分表と測定値との比較表(乾重量当たりで換算した測定表)

		エネルギー kcal/100g	たんぱく質 g/100g	脂質 g/100g	糖質 g/100g	食物繊維 g/100g	ナトリウム mg/100g
5訂増補食品成分表(A)		316.7	11.7	1.7	61.7	16.7	50.0
分析結果 (B)	オ品種	358.2±4.63	10.0±0.75	2.8±0.67	67.9±1.51	12.1±1.10	25.1±3.80
	カ品種	341.3±7.72	13.9±1.22	2.6±0.83	57.3±2.36	18.7±0.85	32.2±3.76
	キ品種	341.8±12.44	14.5±1.55	2.6±1.12	60.0±2.13	16.0±0.87	47.1±18.59
差引増減 (B)-(A)	オ品種	41.6	-1.7	1.1	6.3	-4.5	-24.9
	カ品種	24.7	2.2	0.9	-4.4	2.0	-17.8
	キ品種	25.1	2.8	0.9	-1.7	-0.7	-2.9
変動割合 (B)/(A)	オ品種	113.1%	85.5%	165.5%	110.1%	72.9%	50.1%
	カ品種	107.8%	118.8%	156.9%	92.9%	112.1%	64.5%
	キ品種	107.9%	124.3%	154.1%	97.2%	95.9%	94.3%

※分析結果(B)については平均値と標準偏差を表記。

② 品種による比較検討

②-1 トマト: β カロテン

トマトの品種間での β カロテン量を比較した。産地・栽培方法等、収穫日等は以下のとおり。

検査標本について:

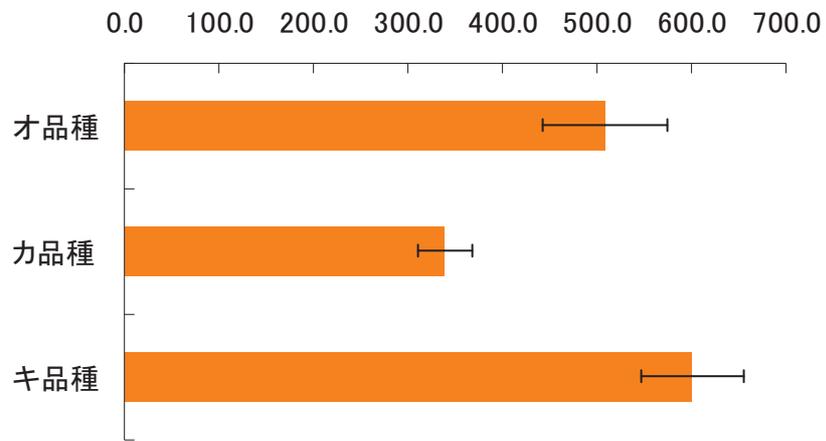
品種	産地	栽培方法等	収穫日	標本数
オ品種	C産地	Mサイズ、土耕栽培、ハウス	H20.8.13	10 標本
			H20.9.1	10 標本
			H20.9.5	10 標本
			H20.9.17	10 標本
オ品種	C産地	Mサイズ、土耕栽培 簡易雨よけ	H20.8.13	10 標本
			H20.8.27	10 標本
			H20.9.3	10 標本
			H20.9.17	10 標本
オ品種	D産地	優Lサイズ、土耕栽培、 ハウス	H20.8.7	10 標本
			H20.8.21	10 標本
			H20.9.4	10 標本
			H20.9.18	10 標本
カ品種	E産地	ロックウール養液栽培 年1作長段取り ハウス	H20.11.12	10 標本
			H20.11.26	10 標本
			H20.12.9	10 標本
			H20.12.24	10 標本
キ品種	F産地	Mサイズ、土耕栽培、ハウス	H20.11.11	10 標本
			H20.11.18	10 標本
			H20.11.26	10 標本
			H20.12.2	10 標本

品種	標本数	β カロテン(μ g/100g)	
		平均	SD
オ品種	120	508.7	± 66.63
カ品種	40	338.8	± 28.74
キ品種	40	600.3	± 54.26

分散分析表

変動要因	変動	自由度	分散	観測された 分散比	P-値	F 境界値
グループ間	1,441,033	2	720,516	210.17675	0.0000000	3.041753
グループ内	675,344	197	3,428			
合計	2,116,377	199				

β カロテン ($\mu\text{g}/100\text{g}$) 平均値 ($\pm\text{SD}$)



②-2 トマト:リコピン

トマトの品種間でのリコピン量を比較した。産地・栽培方法等、収穫日等は以下のとおり。

検査標本について:

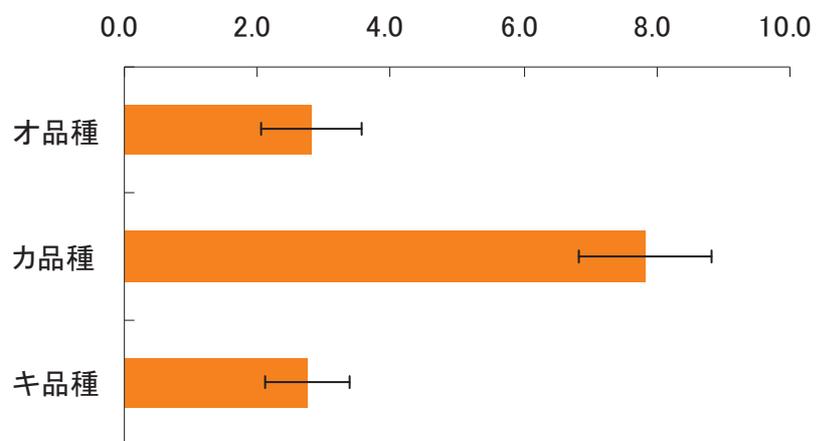
品種	産地	栽培方法等	収穫日	標本数
オ品種	C産地	Mサイズ、土耕栽培、ハウス	H20.8.13	10 標本
			H20.9.1	10 標本
			H20.9.5	10 標本
			H20.9.17	10 標本
オ品種	C産地	Mサイズ、土耕栽培 簡易雨よけ	H20.8.13	10 標本
			H20.8.27	10 標本
			H20.9.3	10 標本
			H20.9.17	10 標本
オ品種	D産地	優Lサイズ、土耕栽培、 ハウス	H20.8.7	10 標本
			H20.8.21	10 標本
			H20.9.4	10 標本
			H20.9.18	10 標本
カ品種	E産地	ロックウール養液栽培 年1作長段取り ハウス	H20.11.12	10 標本
			H20.11.26	10 標本
			H20.12.9	10 標本
			H20.12.24	10 標本
キ品種	F産地	Mサイズ、土耕栽培、ハウス	H20.11.11	10 標本
			H20.11.18	10 標本
			H20.11.26	10 標本
			H20.12.2	10 標本

品種	標本数	リコピン(mg/100g)	
		平均	SD
オ品種	120	2.8	±0.76
カ品種	40	7.8	±0.99
キ品種	40	2.7	±0.63

分散分析表

変動要因	変動	自由度	分散	観測された 分散比	P-値	F 境界値
グループ間	810.1	2	405.06	652.51384	0.0000000	3.041753
グループ内	122.3	197	0.62			
合計	932.4	199				

リコピン(mg/100g) 平均値(±SD)



③ 産地による比較検討

③-1 トマト: β カロテン

「オ品種」について、栽培方法等が同じであるが産地が異なるものについて β カロテン量を比較した。なお、産地により収穫日は異なる。

検査標本について:

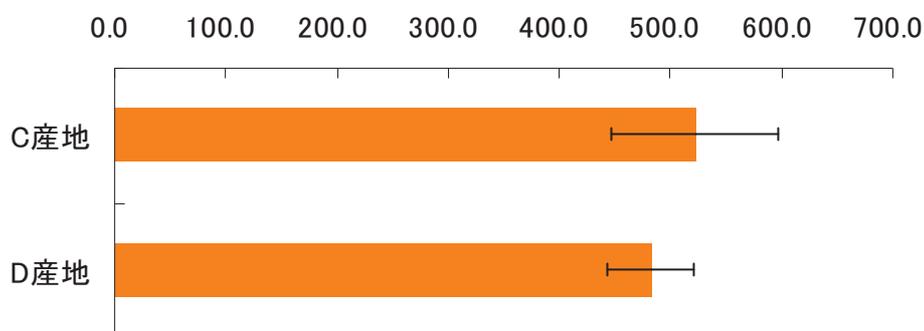
品種	産地	栽培方法等	収穫日	標本数
オ品種	C産地	Mサイズ、土耕栽培、ハウス	H20.8.13	10 標本
			H20.9.1	10 標本
			H20.9.5	10 標本
			H20.9.17	10 標本
オ品種	D産地	優Lサイズ、土耕栽培、ハウス	H20.8.7	10 標本
			H20.8.21	10 標本
			H20.9.4	10 標本
			H20.9.18	10 標本

産地	標本数	β カロテン($\mu\text{g}/100\text{g}$)	
		平均	SD
C産地	40	522.2	± 75.53
D産地	40	482.2	± 39.46

分散分析表

変動要因	変動	自由度	分散	観測された分散比	P-値	F 境界値
グループ間	32,080	1	32,080	8.8340239	0.0039306	3.9634719
グループ内	283,251	78	3,631			
合計	315,331	79				

β カロテン($\mu\text{g}/100\text{g}$) 平均値(\pm SD)



③-2 トマト:リコピン

「オ品種」について、栽培方法等が同じであるが産地が異なるものについてリコピン量を比較した。なお、産地により収穫日は異なる。

検査標本について:

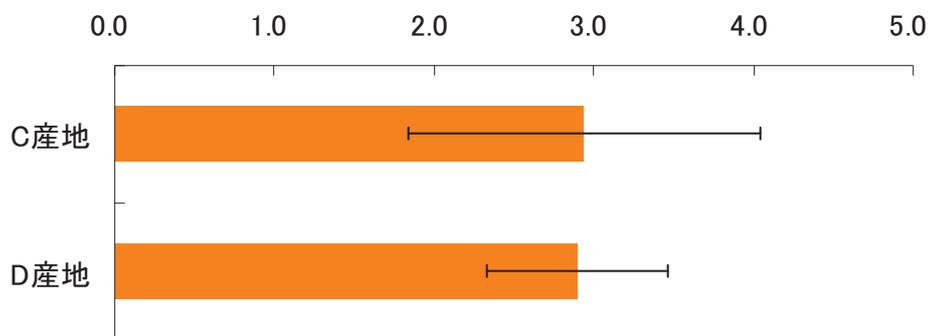
品種	産地	栽培方法等	収穫日	標本数
オ品種	C産地	Mサイズ、土耕栽培、ハウス	H20.8.13	10 標本
			H20.9.1	10 標本
			H20.9.5	10 標本
			H20.9.17	10 標本
オ品種	D産地	優Lサイズ、土耕栽培、ハウス	H20.8.7	10 標本
			H20.8.21	10 標本
			H20.9.4	10 標本
			H20.9.18	10 標本

産地	標本数	リコピン(mg/100g)	
		平均	SD
C産地	40	2.9	±1.10
D産地	40	2.9	±0.57

分散分析表

変動要因	変動	自由度	分散	観測された分散比	P-値	F 境界値
グループ間	0.0	1	0.03	0.0367136	0.8485473	3.9634719
グループ内	59.8	78	0.77			
合計	59.8	79				

リコピン(mg/100g) 平均値(±SD)



④ 栽培法による比較検討

※栽培法比較データなし。

⑤ 作型による比較検討

⑤-1 トマト: β カロテン

「オ品種」について、産地は同じであるが作型が異なるものについて β カロテン量を比較した。なお、作型により収穫日は異なる。

検査標本について:

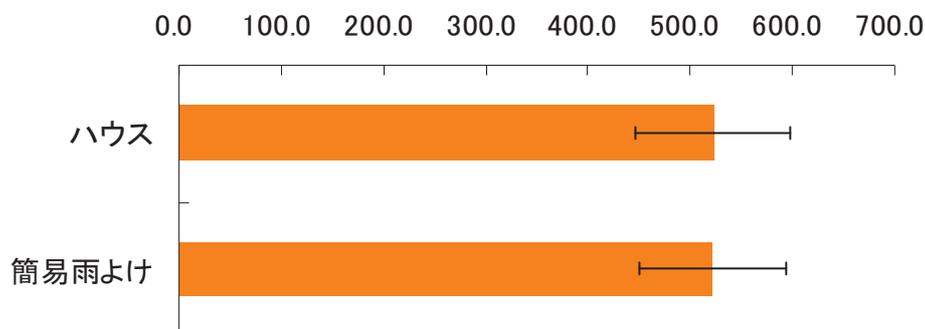
品種	産地	栽培方法等	収穫日	標本数
オ品種	C産地	Mサイズ、土耕栽培、ハウス	H20.8.13	10 標本
			H20.9.1	10 標本
			H20.9.5	10 標本
			H20.9.17	10 標本
オ品種	C産地	Mサイズ、土耕栽培 簡易雨よけ	H20.8.13	10 標本
			H20.8.27	10 標本
			H20.9.3	10 標本
			H20.9.17	10 標本

作型	標本数	β カロテン(μ g/100g)	
		平均	SD
ハウス	40	522.2	± 75.53
簡易雨よけ	40	521.7	± 72.13

分散分析表

変動要因	変動	自由度	分散	観測された分散比	P-値	F 境界値
グループ間	7	1	7	0.0012124	0.9723122	3.9634719
グループ内	425,404	78	5,454			
合計	425,411	79				

β カロテン(μ g/100g) 平均値(\pm SD)



⑤-2 トマト:リコピン

「オ品種」について、産地は同じであるが作型が異なるものについてリコピン量を比較した。なお、作型により収穫日は異なる。

検査標本について:

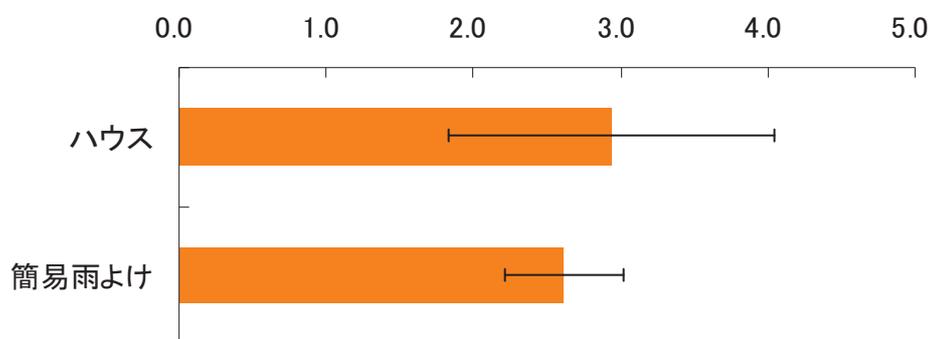
品種	産地	栽培方法等	収穫日	標本数
オ品種	C産地	Mサイズ、土耕栽培、ハウス	H20.8.13	10 標本
			H20.9.1	10 標本
			H20.9.5	10 標本
			H20.9.17	10 標本
オ品種	C産地	Mサイズ、土耕栽培 簡易雨よけ	H20.8.13	10 標本
			H20.8.27	10 標本
			H20.9.3	10 標本
			H20.9.17	10 標本

作型	標本数	リコピン($\mu\text{g}/100\text{g}$)	
		平均	SD
ハウス	40	2.9	± 1.10
簡易雨よけ	40	2.6	± 0.40

分散分析表

変動要因	変動	自由度	分散	観測された分散比	P-値	F 境界値
グループ間	2.1	1	2.11	3.0755436	0.0834062	3.9634719
グループ内	53.6	78	0.69			
合計	55.7	79				

リコピン(mg/100g) 平均値(\pm SD)



⑥ 経時的な成分変動の比較分析

品種、産地、作型等の異なる5つのグループについて、それぞれ収穫日が異なることによるβカロテン量、リコピン量を比較した。

⑥-1 トマト: βカロテン

検査標本について:

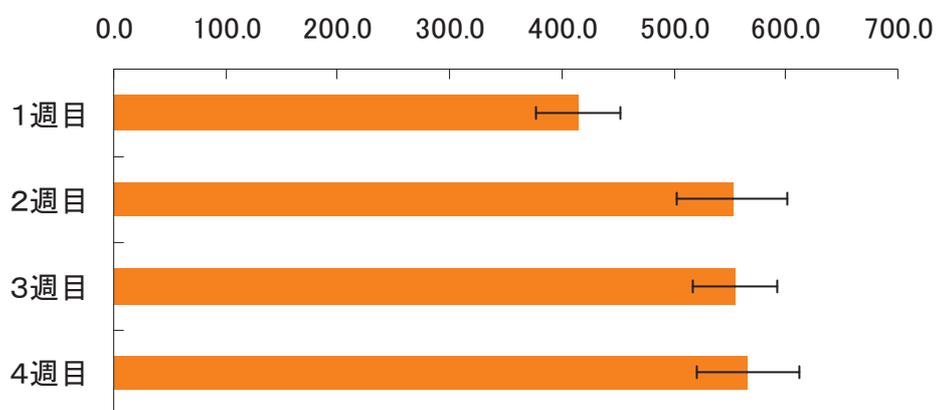
品種	産地	栽培方法等	収穫日	標本数
オ品種	C産地	Mサイズ、土耕栽培、ハウス	H20.8.13	10 標本
			H20.9.1	10 標本
			H20.9.5	10 標本
			H20.9.17	10 標本

週	標本数	βカロテン(μg/100g)	
		平均	SD
1週目	10	414.6	±37.70
2週目	10	552.7	±49.38
3週目	10	555.4	±37.72
4週目	10	566.2	±46.56

分散分析表

変動要因	変動	自由度	分散	観測された分散比	P-値	F 境界値
グループ間	155,462	3	51,821	27.823054	0.0000000	2.8662656
グループ内	67,051	36	1,863			
合計	222,513	39				

βカロテン(μg/100g) 平均値(±SD)
(オ品種・C産地・ハウス)



検査標本について:

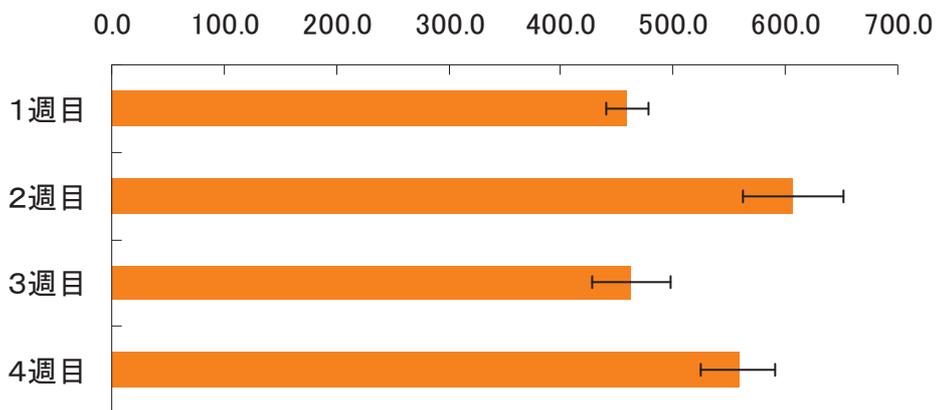
品種	産地	栽培方法等	収穫日	標本数
オ品種	C産地	M サイズ、土耕栽培 簡易雨よけ	H20.8.13	10 標本
			H20.8.27	10 標本
			H20.9.3	10 標本
			H20.9.17	10 標本

週	標本数	β カロテン ($\mu\text{g}/100\text{g}$)	
		平均	SD
1週目	10	459.1	± 18.56
2週目	10	607.6	± 44.80
3週目	10	462.2	± 34.67
4週目	10	557.7	± 32.61

分散分析表

変動要因	変動	自由度	分散	観測された分散比	P-値	F 境界値
グループ間	161,338	3	53,779	46.592477	0.0000000	2.8662656
グループ内	41,553	36	1,154			
合計	202,891	39				

β カロテン ($\mu\text{g}/100\text{g}$) 平均値 ($\pm\text{SD}$)
(オ品種・C産地・簡易雨よけ)



検査標本について:

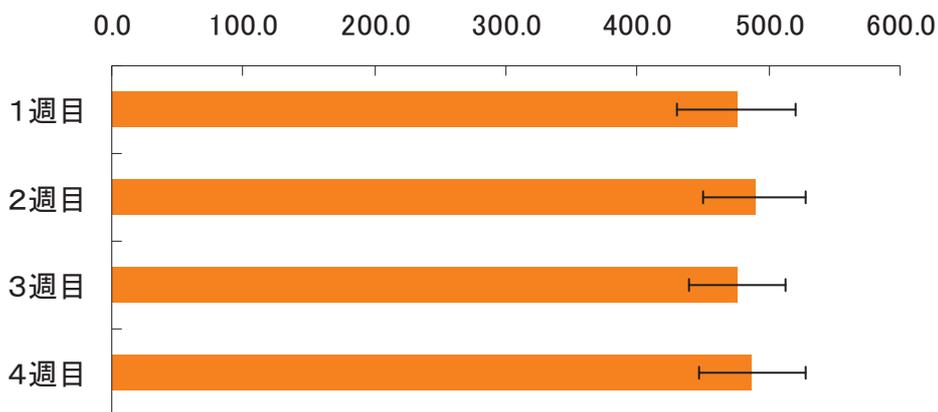
品種	産地	栽培方法等	収穫日	標本数
オ品種	D産地	優 L サイズ、土耕栽培、ハウス	H20.8.7	10 標本
			H20.8.21	10 標本
			H20.9.4	10 標本
			H20.9.18	10 標本

週	標本数	β カロテン ($\mu\text{g}/100\text{g}$)	
		平均	SD
1週目	10	475.6	± 45.53
2週目	10	489.2	± 38.95
3週目	10	476.5	± 36.83
4週目	10	487.4	± 40.42

分散分析表

変動要因	変動	自由度	分散	観測された分散比	P-値	F 境界値
グループ間	1,521	3	507	0.3081975	0.8192878	2.8662656
グループ内	59,217	36	1,645			
合計	60,738	39				

β カロテン ($\mu\text{g}/100\text{g}$) 平均値 ($\pm\text{SD}$)
(オ品種・D産地・ハウス)



検査標本について:

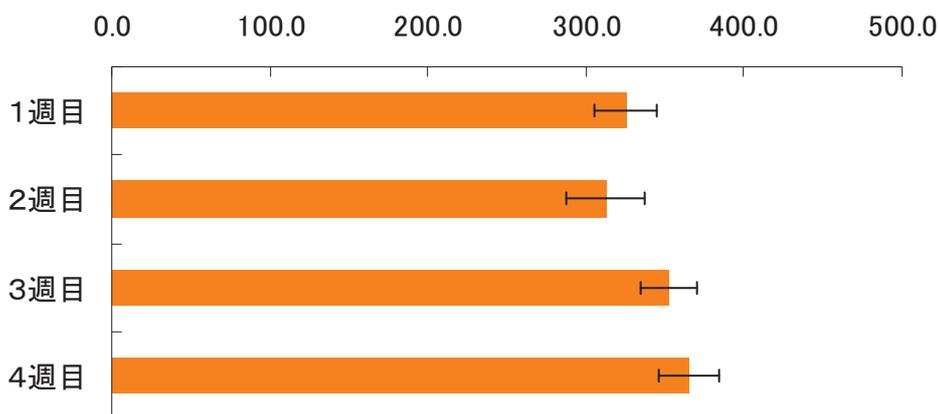
品種	産地	栽培方法等	収穫日	標本数
カ品種	E産地	ロックウール養液栽培 年1作長段取り ハウス	H20.11.12	10 標本
			H20.11.26	10 標本
			H20.12.9	10 標本
			H20.12.24	10 標本

週	標本数	β カロテン($\mu\text{g}/100\text{g}$)	
		平均	SD
1週目	10	325.5	± 19.56
2週目	10	312.6	± 24.99
3週目	10	352.1	± 17.55
4週目	10	364.9	± 18.73

分散分析表

変動要因	変動	自由度	分散	観測された分散比	P-値	F 境界値
グループ間	17,214	3	5,738	13.778125	0.0000038	2.8662656
グループ内	14,993	36	416			
合計	32,207	39				

β カロテン($\mu\text{g}/100\text{g}$) 平均値($\pm\text{SD}$)
(カ品種・E産地・ハウス)



検査標本について:

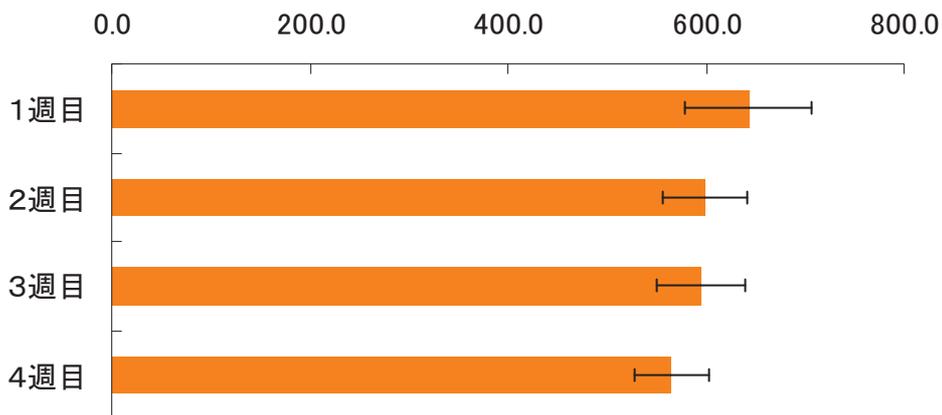
品種	産地	栽培方法等	収穫日	標本数
キ品種	F産地	Mサイズ、土耕栽培、ハウス	H20.11.11	10 標本
			H20.11.18	10 標本
			H20.11.26	10 標本
			H20.12.2	10 標本

週	標本数	β カロテン($\mu\text{g}/100\text{g}$)	
		平均	SD
1週目	10	643.3	± 63.85
2週目	10	598.4	± 42.26
3週目	10	594.5	± 44.79
4週目	10	564.8	± 37.32

分散分析表

変動要因	変動	自由度	分散	観測された分散比	P-値	F 境界値
グループ間	31,465	3	10,488	4.5293549	0.0085544	2.8662656
グループ内	83,363	36	2,316			
合計	114,828	39				

β カロテン($\mu\text{g}/100\text{g}$) 平均値(\pm SD)
(キ品種・F産地・ハウス)



⑥-2 トマト:リコピン

検査標本について:

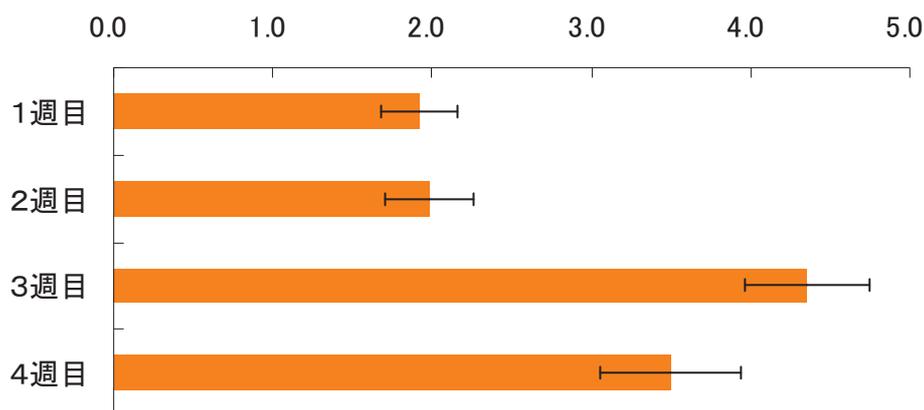
品種	産地	栽培方法等	収穫日	標本数
オ品種	C産地	Mサイズ、土耕栽培、ハウス	H20.8.13	10 標本
			H20.9.1	10 標本
			H20.9.5	10 標本
			H20.9.17	10 標本

週	標本数	リコピン(mg/100g)	
		平均	SD
1週目	10	1.9	±0.24
2週目	10	2.0	±0.28
3週目	10	4.4	±0.40
4週目	10	3.5	±0.45

分散分析表

変動要因	変動	自由度	分散	観測された分散比	P-値	F 境界値
グループ間	42.8	3	14.26	116.38815	0.0000000	2.8662656
グループ内	4.4	36	0.12			
合計	47.2	39				

リコピン (mg/100g) 平均値(±SD)
(オ品種・C産地・ハウス)



検査標本について:

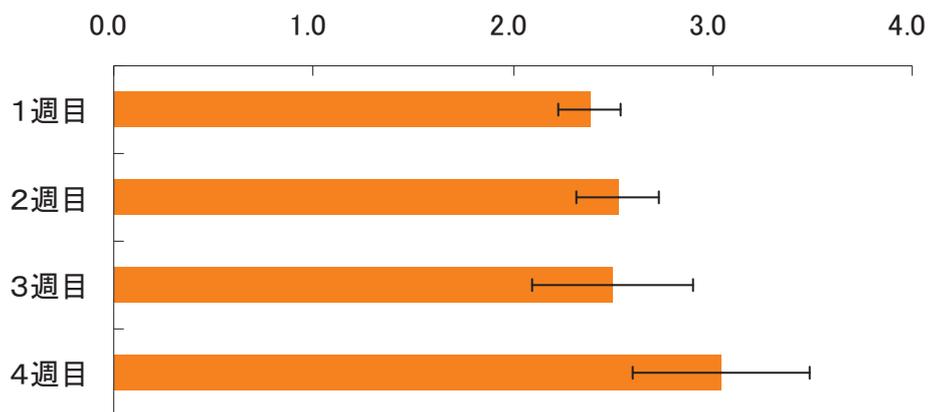
品種	産地	栽培方法等	収穫日	標本数
才品種	C産地	M サイズ、土耕栽培 簡易雨よけ	H20.8.13	10 標本
			H20.8.27	10 標本
			H20.9.3	10 標本
			H20.9.17	10 標本

週	標本数	リコピン(mg/100g)	
		平均	SD
1週目	10	2.4	±0.16
2週目	10	2.5	±0.21
3週目	10	2.5	±0.40
4週目	10	3.0	±0.44

分散分析表

変動要因	変動	自由度	分散	観測された分散比	P-値	F 境界値
グループ間	2.6	3	0.86	8.1609202	0.0002835	2.8662656
グループ内	3.8	36	0.11			
合計	6.4	39				

リコピン (mg/100g) 平均値(±SD)
(才品種・C産地・簡易雨よけ)



検査標本について:

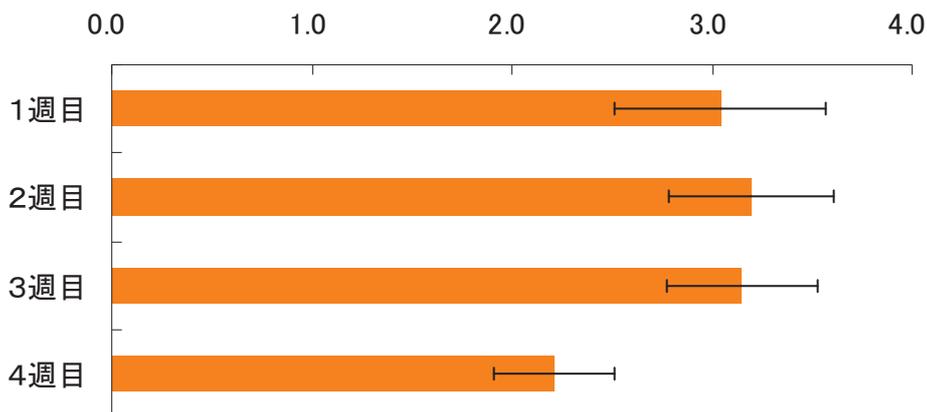
品種	産地	栽培方法等	収穫日	標本数
オ品種	D産地	優 L サイズ、土耕栽培、ハウス	H20.8.7	10 標本
			H20.8.21	10 標本
			H20.9.4	10 標本
			H20.9.18	10 標本

週	標本数	リコピン(mg/100g)	
		平均	SD
1週目	10	3.0	±0.53
2週目	10	3.2	±0.41
3週目	10	3.1	±0.38
4週目	10	2.2	±0.31

分散分析表

変動要因	変動	自由度	分散	観測された分散比	P-値	F 境界値
グループ間	6.5	3	2.15	12.666092	0.0000084	2.8662656
グループ内	6.1	36	0.17			
合計	12.6	39				

リコピン (mg/100g) 平均値(±SD)
(オ品種・D産地・ハウス)



検査標本について:

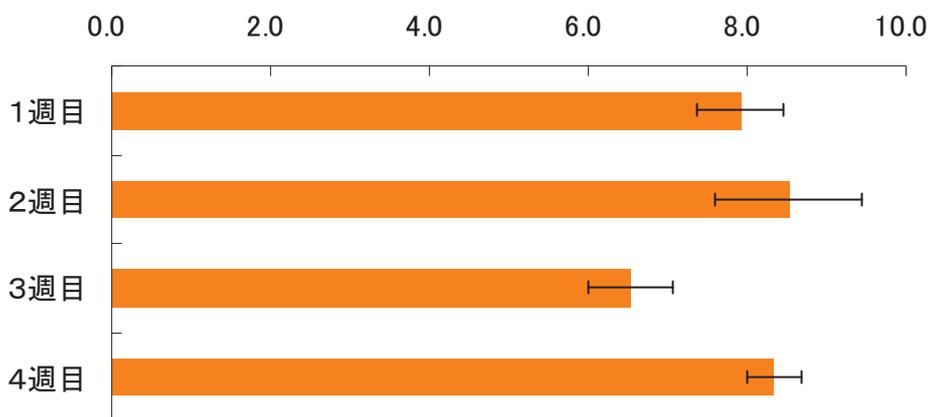
品種	産地	栽培方法等	収穫日	標本数
カ品種	E産地	ロックウール養液栽培 年1作長段取り ハウス	H20.11.12	10 標本
			H20.11.26	10 標本
			H20.12.9	10 標本
			H20.12.24	10 標本

週	標本数	リコピン(mg/100g)	
		平均	SD
1週目	10	7.9	±0.54
2週目	10	8.5	±0.93
3週目	10	6.5	±0.53
4週目	10	8.3	±0.34

分散分析表

変動要因	変動	自由度	分散	観測された分散比	P-値	F 境界値
グループ間	24.1	3	8.03	20.774553	0.0000001	2.8662656
グループ内	13.9	36	0.39			
合計	38.0	39				

リコピン (mg/100g) 平均値(±SD)
(カ品種・E産地・ハウス)



検査標本について:

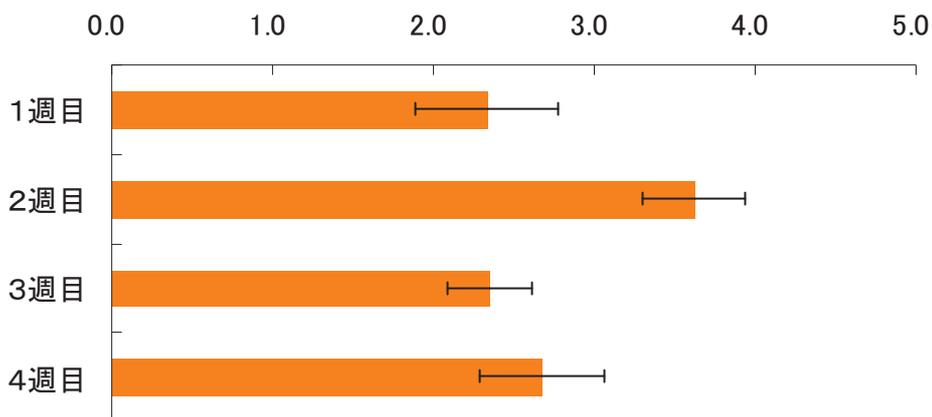
品種	産地	栽培方法等	収穫日	標本数
キ品種	F産地	Mサイズ、土耕栽培、ハウス	H20.11.11	10 標本
			H20.11.18	10 標本
			H20.11.26	10 標本
			H20.12.2	10 標本

週	標本数	リコピン(mg/100g)	
		平均	SD
1週目	10	2.3	±0.44
2週目	10	3.6	±0.32
3週目	10	2.3	±0.26
4週目	10	2.7	±0.39

分散分析表

変動要因	変動	自由度	分散	観測された分散比	P-値	F 境界値
グループ間	10.9	3	3.65	28.101665	0.0000000	2.8662656
グループ内	4.7	36	0.13			
合計	15.6	39				

リコピン (mg/100g) 平均値(±SD)
(キ品種・F産地・ハウス)



⑦ 品種・産地・栽培法による比較検討

⑦-1 トマト: β カロテン

トマトの品種・産地・作型の異なる5つのグループの間で β カロテン量を比較した。産地・栽培方法、収穫日等は以下のとおり。

検査標本について:

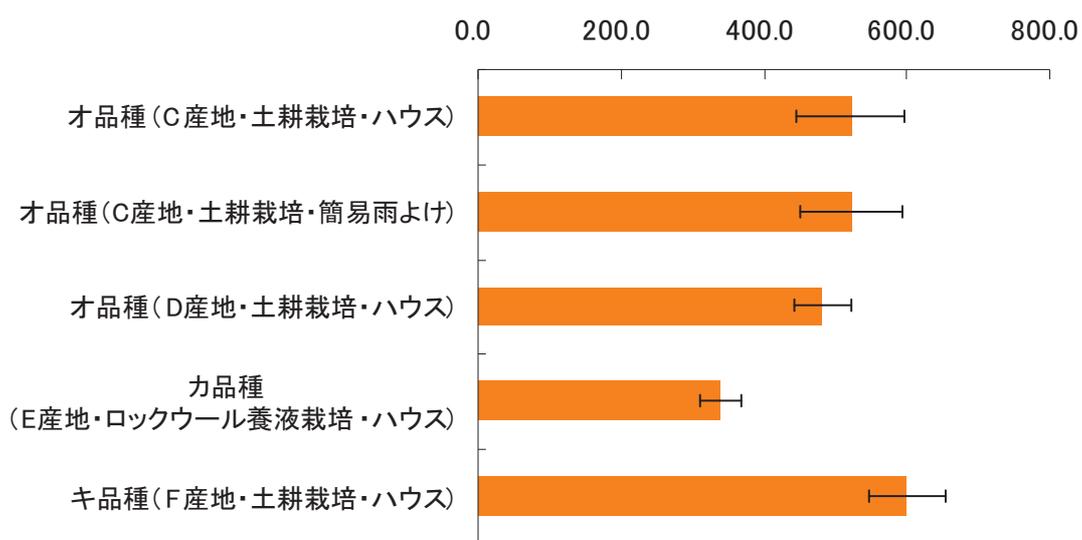
品種	産地	栽培方法等	収穫日	標本数
オ品種	C産地	Mサイズ、土耕栽培、ハウス	H20.8.13	10 標本
			H20.9.1	10 標本
			H20.9.5	10 標本
			H20.9.17	10 標本
オ品種	C産地	Mサイズ、土耕栽培 簡易雨よけ	H20.8.13	10 標本
			H20.8.27	10 標本
			H20.9.3	10 標本
			H20.9.17	10 標本
オ品種	D産地	優Lサイズ、土耕栽培、 ハウス	H20.8.7	10 標本
			H20.8.21	10 標本
			H20.9.4	10 標本
			H20.9.18	10 標本
カ品種	E産地	ロックウール養液栽培 年1作長段取り ハウス	H20.11.12	10 標本
			H20.11.26	10 標本
			H20.12.9	10 標本
			H20.12.24	10 標本
キ品種	F産地	Mサイズ、土耕栽培、ハウス	H20.11.11	10 標本
			H20.11.18	10 標本
			H20.11.26	10 標本
			H20.12.2	10 標本

品種	産地	栽培方法等	標本数	β カロテン(μ g/100g)	
				平均	SD
オ品種	C産地	Mサイズ、土耕栽培、ハウス	40	522.2	\pm 75.53
オ品種	C産地	Mサイズ、土耕栽培、簡易雨よけ	40	521.7	\pm 72.13
オ品種	D産地	優Lサイズ、土耕栽培、ハウス	40	482.2	\pm 39.46
カ品種	E産地	ロックウール養液栽培年1作長段取り、ハウス	40	338.8	\pm 28.74
キ品種	F産地	Mサイズ、土耕栽培、ハウス	40	600.3	\pm 54.26

分散分析表

変動要因	変動	自由度	分散	観測された分散比	P-値	F 境界値
グループ間	1,483,201	4	370,800	114.19573	0.0000000	2.4179625
グループ内	633,176	195	3,247			
合計	2,116,377	199				

β カロテン ($\mu\text{g}/100\text{g}$) 平均値 ($\pm\text{SD}$)



⑦-2 トマト:リコピン

トマトの品種・産地・作型の異なる5つのグループの間でリコピン量を比較した。産地・栽培方法、収穫日等は以下のとおり。

検査標本について:

品種	産地	栽培方法等	収穫日	標本数
オ品種	C産地	Mサイズ、土耕栽培、ハウス	H20.8.13	10 標本
			H20.9.1	10 標本
			H20.9.5	10 標本
			H20.9.17	10 標本
オ品種	C産地	Mサイズ、土耕栽培 簡易雨よけ	H20.8.13	10 標本
			H20.8.27	10 標本
			H20.9.3	10 標本
			H20.9.17	10 標本
オ品種	D産地	優Lサイズ、土耕栽培、 ハウス	H20.8.7	10 標本
			H20.8.21	10 標本
			H20.9.4	10 標本
			H20.9.18	10 標本
カ品種	E産地	ロックウール養液栽培 年1作長段取り ハウス	H20.11.12	10 標本
			H20.11.26	10 標本
			H20.12.9	10 標本
			H20.12.24	10 標本
キ品種	F産地	Mサイズ、土耕栽培、ハウス	H20.11.11	10 標本
			H20.11.18	10 標本
			H20.11.26	10 標本
			H20.12.2	10 標本

品種	産地	栽培方法等	標本数	リコピン(mg/100g)	
				平均	SD
オ品種	C産地	Mサイズ、土耕栽培、ハウス	40	2.9	±1.10
オ品種	C産地	Mサイズ、土耕栽培、簡易雨よけ	40	2.6	±0.40
オ品種	D産地	優Lサイズ、土耕栽培、ハウス	40	2.9	±0.57
カ品種	E産地	ロックウール養液栽培年1作長段取り、ハウス	40	7.8	±0.99
キ品種	F産地	Mサイズ、土耕栽培、ハウス	40	2.7	±0.63

分散分析表

変動要因	変動	自由度	分散	観測された分散比	P-値	F 境界値
グループ間	812.7	4	203.16	330.79419	0.0000000	2.4179625
グループ内	119.8	195	0.61			
合計	932.4	199				

リコピン(mg/100g) 平均値(±SD)

